



## 県議会報告

宮成公一郎  
(竹田市選出)

大分県議会議員

終戦から80年の節目の年の8月を迎えてます。今も世界中で続く紛争を気にしながら、この国はいつもと変わらぬ8月を迎えてます。

日々の活動の中で、皆さんが安心して安全に暮らしていけるよう努めることこそ政治家として最も大切なことだと思っています。

今年は昭和で言えば100年の節目の年でもあり、100年後は今より良い世の中であるよう願いながら、足下の仕事に取り組んでいます。

今日号では、5月に行なった県内各地での所管事務調査と6月の令和7年第2回県議会定例会における補正予算等についてお伝えします。

### ■令和7年度大分県一般会計 補正予算(第一号)

4億1644万円増額。  
累計7030億9344万円

物価高騰の影響を受けている

生活者や事業者に対して、これまで県は国の対策を補完する支援を行ってきました。今回、国が行なう電気・都市ガス料金への支援の対象外となるLPGガスと特別高圧の価格変動緩和対策に係る予算措置を行いました。

LPGガス1契約あたり780円。  
※8月検針分の請求時に自動的に減額。

特別高圧:7月及び9月は10円/kwh  
8月は12円/kwhを支授。



### 議員提出意見書

自民党会派が提出した「里親制度の充実を求める意見書」のほか「米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書」など5本の意見書を採択しました。

### 里親制度の充実を求める 意見書骨子

近年、家庭で暮らすことができないこともたちを公的な責任のもとで養育する社会的養護の必要性が高まっている。本県の里親等委託率は全国トップクラスであるが、緊急時の調整や現行人員配置基準での対応が困難な状況であり、国が示した目標の達成には至っていない。そうした中、本県では「乳幼児短期緊急里親制度」の導入や児童福祉施設に専任職員の配置を行なった。国においても里親制度の更なる充実のために次の施策を講じよう強く求める。

### 1. 「乳幼児短期緊急里親制度」を国創設

### 2. 里親レスバイト専任職員を児童福祉施設に配置する制度の創設

### 3. 里親登録数を増加させるため積極的な広報・啓発活動を実施

### 4. 地域の実情に応じた制度充実のため予算や人員体制強化の支援

## ■商工観光労働企業委員会

各地の振興局をはじめ6日間で計26か所の現地視察等を行い、これまでの成果や今後の取組みについて所管事務調査を行いました。



県産有機栽培醸酎に続き、地元米を活用したウイスキー製造を開始した臼杵市野津町の蔵元酒造㈱



回収した古酒を吸音材に変換し、自動車用内装材として活用する事業展開をしている宇佐市の旭カタロン㈱



2700人を超える外国人が暮らす中津市。県内初となる商業施設内に開設した中津外国人総合相談センター



中津市にある県立工科短期大学校には2学年で100名の学生が学ぶ。大分大学理工学部への進むの道も開ける



新D&S列車「かんばら号」のおもてなし駅として指定された九重町の熊良駅は、先哲資料館を併設



世界農業遺産認定を契機に六郷満山を峯入り行のコースをベースにしたトレッキングルートを開始した国東半島峯道コングトレールクラブ



大分市下宗方にある県立高等技術専門校では、電気設備、自動車整備、木造建築、空調設備などの職業訓練を新高卒者や社会人経験者等に行なう



高平キャンプ場の若き指定管理者は、養殖ブリを活かしながら道の駅がまえと併せた「宿泊+体験+食」を展開

## ■県内所管事務調査(竹田市)

県議会には6つの常任委員会が設置されており、それぞれの委員会が竹田市内の所管事務を調査しました。



100年先に繋ぐため、楽しむ・活用する・伝わる・残すをコンセプトに活動する「竹田藝術部」を総務企画委員会が調査



ユネスコエコパーク関連で展開する「祖母山麓自然・人共生空間整備プロジェクト実行委員会」を福祉保健生活環境委員会が調査



農地・施設・機械・指導がセットでお試し感覚で始められる「スタートアップファームたけた」を農林水産委員会が調査

早期全線開通が期待され、工事が進む上鹿口地区の「中九州横断道路」を土木建築委員会が調査



事業承継等に取り組む「九州アルプス農工会」を商工観光労働企業委員会の副委員長として調査



- 「世界かんがい施設遺産」認定の報が届く。先人の取組みが私たちの財産となり、未来に向けた勇気をいただく。
- テレビドラマ「はぐれ鶴」も秀逸。原作の構想づくりを支えた方々とともに、この先の展開にも期待を寄せる。
- 入田の中島公園が多くの子どもたちで大変な賑わい。大分市や熊本県からも涼を求めて竹田に来ているらしい。
- 観光資源は身近なところにあることを実感しながら迎える8月15日。未来が平和と活気に包まれているよう祈る日。

令和7年第3回定例会は9月4日に開会予定で、9月11日(木)午後から宮成の一般質問が予定されています。